

新曲レコーディング、遂に完了!



「川端の宿」「おふくろ」

月刊 青戸

第19号

平成17年9月

編集
オフィス・オレンヂ

10月26日発売 乞うご期待!

→さすがにレッスン
中は真剣な表情の
青戸と、演歌の達人
岡千秋先生



皆さん、お待たせしました!
ご愛聴、ご愛唱いただいた
「風雪十年」に続くニュー・
シングルが完成しました。作
詞IIいでほく先生、作曲II岡
千秋先生による2曲で、タイ
トルは「川端の宿」、そして「お
ふくろ」。母親への感謝や様々
な想いを歌いたいと、以前か
らステージでは「ふるさと」は
母のゆりかご」を大事に歌っ
てきていた青戸ですが、ここ
で母親をテーマにした新た
なオリジナル作品が誕生し
ました。
そして「おふくろ」以上に

話題性豊かなのが「川端の宿」
なんと青戸健デビュー以来
初の女歌なんです。タイトル
そのまま川端の宿を舞台に、
密やかに燃える切ない恋を
詩情たつぷりに描いています。
「エー、健ちゃん女歌なん
てうたえるの?」などと意外
にお思いの方もいらつしや
るでしょうが、青戸健、実は
繊細な表現には自信がある
んです。というのをご存知の
方も多いでしょうが、以前か
ら芝居を勉強して表現力を
磨いてきたから。それに今回
は岡先生より優しくも厳し
いご指導を賜り、歌へ
の想いも一層深いもの
となつていきます。青戸
本人も「皆さんからど
んな感想が返ってくる
か、ちよつと怖い気も
するんだけど、楽しみ
の方が大きいなあ」と、
新曲の発売を楽しみに
待つ日々。発売後は精
力的なキャンペーンと
合わせて、計6ヶ所
の新曲発表歌謡ショー
を展開。「川端の宿」を青戸健
の新たな代表曲にと、スタッ
フ共々意欲を燃やしています。
聴いてヨシ、歌ってヨシの
「川端の宿」。これからの季節
にピッタリの作品ですので、
ご予約、リクエストなど、ど
うぞよろしくお願い致します!

青戸健 新曲発表歌謡ショー

新曲「川端の宿」「おふくろ」を中心に、青戸健の魅力満載でお届けする歌謡ショー。
ぜひ皆様お誘い合わせの上お出かけください!

- 11月11日(金) 青葉の森芸術文化ホール
- 13日(日) 大栄町コミュニティプラザホール
- 15日(火) 東金文化会館
- 29日(火) 成田国際文化会館

- 06年1月8日(日) 市原文化会館
- 2月5日(日) 印西文化会館

◆チケットのお問い合わせは...
(有)K・Yプロモーション (0476)24-1258

前略 青戸です!

今年もふるさと八戸では、7月31日から8月4日にかけて「八戸三社大祭」が開かれました。写真は、その時の一枚。今回も長横町の山車に乗って太鼓を叩



今年市川左團次さん、石原さとみさんも参加しました

きました。自分の出番ではない時はなんともリラックとした表情をしているものだなと、この写真を見て自分でも思いました。つまり、故郷の空気に和みな

がら、地元のために一生懸命に役目を果たすという気持ちのメリハリが祭りの魅力かも知れないな、なんて思います。地元にお祭りのある方は、そうした行事に積極的に参加して、次の世代に伝えて行ってあげて下さい。素敵な思い出がきつと増えていくと思えます。

でも、もちろん見るだけだつて十分楽しめます。八戸三社大祭の豪華絢爛な様子は年々フアンを増やしており、東北のみならず日本を代表する祭りへと発展を続けているんです。昼間だけでなく、夜の祭りもまたひとときわ美しく、是非たくさんの方にご覧いただきたいものと思っています。来年の夏は是非あなたも八戸に祭りとお祭りを会いに行きましょう。

連載企画 青戸健的音盤



6. 布施 明さん 「霧の摩周湖」

作詞＝水島 哲
作曲＝平尾昌晃
発売＝昭和41年

布施さんの歌唱力にも惹き付けられました。それよりもロマンティックな歌の世界に引き込まれました。どうも私は子供の頃から演歌を聴いて育ったと思われる傾向にあるんですが(なぜでしょう? 顔のせい! そんな!), 本当はこうした歌謡曲に育まれたんですよ。

お便りをお待ちしております!

本紙や公式ホームページ「標準化」
<http://www.aotoken.com>でご紹介させていただきますので、青戸健への励ましやアドバイスなどをお送り下さい。
あて先は、下記の通りです。どしどしお送り下さい!

青戸健に関するお問い合わせは…

K・Y プロモーション
〒286-0035 成田市圏護台1-7-6-303
0476-24-1258 ky@aotoken.com

直言エッセイ ちよっと、なまってるもの申す!



「他人のことを考えよ」

毎回毎回文句ばっかり言っているのが、青戸というのほど口うるさい奴なんだろうとお思いの方もおいででしょうが、いえいえい私は至つて穏やかな人間なんです。その穏やかな人間が度々腹を立てさせられるのは、それだけおかしなことが世の中に多いからだと思っています。いかがでしょう?

例えば、前回に続いて電車を利用した時のことを考えてみると、携帯電話を利用する人が減らないの言うまでもなく、整列乗車しない人、混んだ車内でも幅を取って座っている人、と、他人のことを考えない自分勝手な人の多いのに気が重くなります。遠慮や譲り合いは

子供の頃から大事なことで、それが今の世の中では珍しいものになりつつあるようで、これから先の日本は一体どうなってしまうのかと心配になってしまいます。それも心配の対象には子供ばかりか大人も含まれているのですから困ったもの。これでは私も穏やかではいられません。自分のことはもちろん大事ですし、やりたいことをやるのはいいことですが、社会では全てが他人との関係の上になり立っているということを疎かにしてはいけません。自分のことを考える前に、他人のことを考える習慣を持ちたいものです。